



<まちづくり団体・住民の皆さまの取組み>

「なんとかなんないの」小さなつぶやきが広がりを見せた協働のまちづくり (水戸女性フォーラム)

水戸女性フォーラムは、平成5年水戸市主催の女性大学講座修了生が「女性の視点から水戸市を見つめ直し市政に積極的に参画しよう」と自主的に結成した会です。

発足以来一貫して「人にやさしいまち まちにやさしい人へ」を合言葉に活動してきました。私達の活動の特徴は、まず自分たちの足で歩き、自分たちの目で見、自分たちで調べ、さらに実際にやってみてその上で関係機関に提言してきたことにあります。

その間、まちづくりシンポジウム・街並み景観ウォッチング・歴史的文化遺産の利活用についての学習会・観光食マップ作成など多面的な活動を展開してきました。

これらの活動の原動力となったのは、自分たちの歩いた街角で「なんとかなんないの！」とつぶやいたことから始まりました。ひとりの小さな「つぶやき」が話し合っていくうちに「何とかしなきゃ」という共通の思いになり行動になっていったものばかりです。そして15年の間に広く市民や企業・他団体と連携し、協働の活動となっています。

去年は、あしたの日本を創る協会の「まち・くらしづくり活動賞」の主催者賞を授与され、いままで続けてきた活動が認められたものと考えています。

I 「花一輪ボランティア」のはじまり

私達の数々の提言が、取り入れられた銀杏坂公共トイレの完成以来、自発的に手洗い場に花を活ける活動を始めた。現在まで10年間欠かさず、この活動は続いている。毎週一回交代で花を活けるこの活動を「花一輪ボランティア」と名づけている。

この活動は、市民にも理解され、時には花瓶に入りきれないほどの花が活けてあったり、他の公共トイレなどにも、花が飾られ広がりをみせている。



II 中心市街地景観ボランティア「クリーン作戦」



水戸の「黄門まつり」と「梅まつり」は、多くの観光客でにぎわう。水戸駅から銀杏坂を歩いてみると、植え込みの中にゴミが絡まるように入っていたり、空き缶やビンなども落ちている。歩道には、薄黒いガムのかすが張り付いているのに気づく。非常に見苦しく水戸の印象を悪くする要因になっている。「何とかしなきゃ」と平成12年から、黄門まつりの前の7月と、梅祭りの前の2月に中心市街地の歩道のゴミ拾いとガムはがしを重点的に「クリーン作戦」として行ってきた。始めは、会員だけであったが、水戸市の広報紙などで市民に呼びかけたところ、学生や家族連れ・市内の事業所のボランティアグループ・水戸のサッカーチーム「ホーリーホックサポーター」など、協力者は年々増えている。

また、今年のはじめて商工会議所や茨城大学のグループ・企業などと連携をとり市内にある銅像をきれいに磨く活動を協働で行った。



Ⅲ 偕楽園梅まつり「梅の駅」観光ボランティア

梅まつりに参加していると「食事のおいしい店を教えて…」「園内のみどころは?」「梅は、何分咲き?」「ちかくの見学場所は?」観光客の質問攻めに合う。「なんとかなんないの」とつぶやいたことから「梅の駅観光ボランティア」がはじまった

○水戸のまち大好き会員が、自主的に観光案内を始めたが、平成10年2月からは会全体で取り組むようになった。

現在では、観光協会との協力によりプレハブの案内所が設けられて活動も定着した。

○「水戸のまちなか散策（お土産・お食事どころ）」マップ作成。
現在第3版作成中。



Ⅳ 「あそび横丁」で県立図書館主催「読書フェスティバル」に参加

まちから子どもの遊ぶ姿が消えた。「なんとかなんないの」とつぶやいたことから、年に2回県立図書館で行なっている子どもフェスティバルで、「お手玉」「折り紙」「あやとり」などの昔遊びや「なわとび」「輪投げ」「ニュースポーツ」などで遊びのコーナーを作り子どもたちに遊びを提供している。毎年150人以上の参加者がありリピーターも多い。この「あそび横丁」については「あそび横丁の手引き」を作成して市内のコミュニティーなどで利用できるよう公民館に配布し利用を呼びかけている。



Ⅴ 「まちの駅みと」案内人



シャッターのおりた店舗が目立ち人通りがすっかり減った「なんとかなんないの」とつぶやいたことが商工会議所と協働の「まちの駅みと」開設となった。

水戸市はかつて、水戸駅から大工町まで歩道いっぱい人が歩き、両側の店舗は商品があふれていた。今では、シャッターのおりた店舗がいくつもあり人通りもまばらになってしまった。又せっかく訪れてくれた観光客も休むところも少なく情報を提供してくれるところもない状態が続いた。

このような状態のとき、水戸商工会議所より「まちの駅みと」開設の話が持ち上がった。どうしたら賑わいのあるまちにできるか、「なんとかしなきゃ」と考えていた矢先。まず、まちの駅で案内人を引き受け、ま

ちの賑わい創出のためまちの案内のほか、体験教室開催・各種作品展示など活動を展開している。

【問い合わせ】

水戸女性フォーラム 会長 荘司 満智子
TEL 029-251-9327